

九州圏広域地方計画と九州ブロックにおける
社会資本整備重点計画について

『広域地方計画』と『地方ブロックにおける社会資本整備重点計画』の関係

- 『広域地方計画』は、対流促進型国土の形成に向けて、各広域ブロックの将来像や地域戦略等について示すもの。
- 『地方ブロックにおける社会資本整備重点計画(地方重点計画)』は、『広域地方計画』と調和を図り、各地方においてストック効果の最大化に向けた取組など、社会資本整備の重点事項等について示すもの。

	広域地方計画 ～長期的な広域ブロックづくりの指針～	地方重点計画 ～地方ブロックにおける社会資本整備の具体的計画～
目的	新たな国土形成計画(全国計画)が目指す『対流促進型国土』の形成に向けて、広域ブロックにおける <u>国土の利用、整備及び保全を推進するための総合的かつ基本的な計画</u> として定めるもの。	社会資本整備重点計画に基づき、各地方の特性に応じて社会資本を重点的、効率的、効果的に整備するため、広域地方計画と調和を図り、地方ブロックにおける <u>社会資本整備の具体的な計画</u> として定めるもの。
計画の対象	<u>国土の利用、整備及び保全に関する</u> 府省にまたがる <u>施策全般</u>	道路、空港、港湾、下水道、河川等の <u>社会資本整備事業</u>
計画期間	今後 <u>概ね10年間</u>	<u>H32年度までの約5年間</u>
対象地域	<u>全国8ブロック</u>	広域地方計画の8ブロックに <u>北海道と沖縄を加えた全国10ブロック</u>
根拠法等	国土形成計画法	社会資本整備重点計画(閣議決定)
計画に盛り込む内容(案)	<ul style="list-style-type: none"> ○国土の形成に関する<u>方針</u> ○国土の形成に関する<u>目標</u> ○目標を達成するために一の都府県の区域を超える広域の見地から必要と認められる主要な施策(広域プロジェクト) <ul style="list-style-type: none"> ◇<u>ハード・ソフト一体となった施策パッケージ</u> ◇<u>広域プロジェクトを支える必要不可欠な広域性のある事業の中から代表的な事業を記載</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>現状と主要課題</u> ○<u>目指すべき将来の姿と社会資本整備の基本戦略</u> ○<u>社会資本整備の重点目標とプロジェクト</u> <ul style="list-style-type: none"> ◇プロジェクト毎に「<u>課題と目指す姿</u>」「<u>重点施策</u>」「<u>指標</u>」「<u>主要取組</u>」を一連のストーリーとしてとりまとめ ◇主要取組として個別事業に加え「<u>賢く使う取組</u>」「<u>集約・再編</u>」も記載 ◇取組の時間軸を明確化し、<u>ストック効果を見える化</u>

『新たな九州圏広域地方計画』、『九州ブロックにおける社会資本整備重点計画』
の策定スケジュール(想定)

	<p>新たな九州圏広域地方計画 ～九州ブロックの国土形成に係る総合的・基本的計画～</p>	<p>九州ブロックにおける社会資本整備重点計画 ～九州ブロックの社会資本整備の具体的計画～</p>
<p>平成27年 9月 ～ 平成28年 1月 2月15日 (今回)</p>	<p>第4回九州圏広域地方計画協議会</p> <p>関係機関協議・調整</p> <p>第5回九州圏広域地方計画協議会</p> <p>パブリックコメント</p> <p>計画決定</p>	<p>社会資本整備重点計画 の閣議決定</p> <p>↓</p> <p>有識者等との意見交換実施</p> <p>九州ブロック国土交通懇談会</p> <p>パブリックコメント</p> <p>計画決定</p>

◆ 新たな九州圏広域地方計画における計画策定の流れ

(1) 骨子 (平成27年2月27日公表)

「九州圏の現状と課題」、「九州圏の将来像」、「九州圏の5つの戦略（以下、プロジェクト）」など、九州圏広域地方計画を策定する上で重要な骨組みを示すもの。

(2) 中間整理とりまとめ (平成27年10月18日公表)

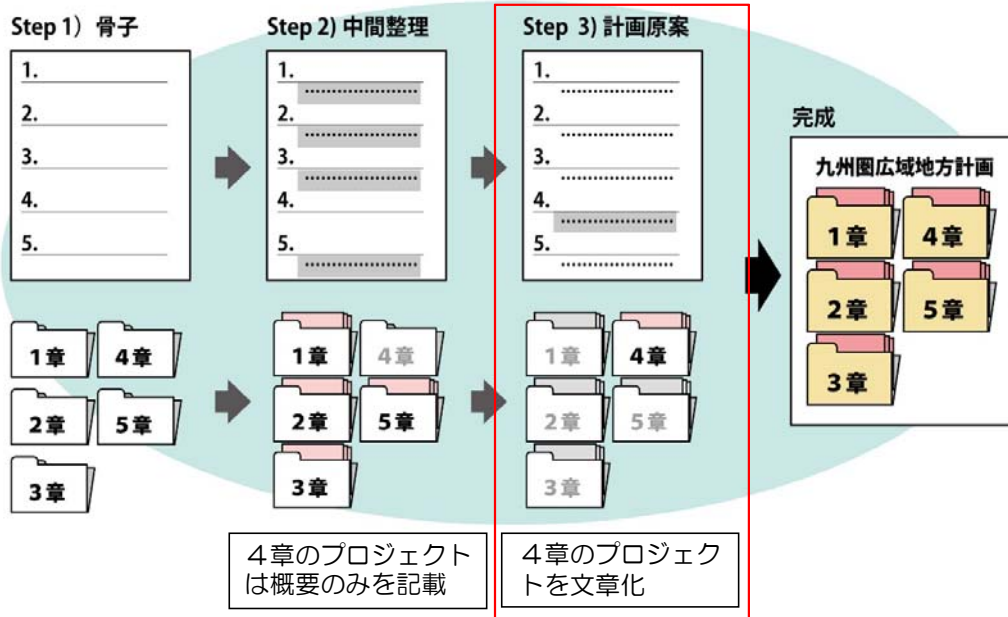
骨子を文章化したもの。プロジェクトは、概要（目的・コンセプト）のみとし、「九州圏の現状と課題」や「九州圏の将来像」などは、可能な限り最終的な計画原案に近いものとして記載するもの。

※ プロジェクトを支える個別事業は原則として記載しない。

※今回策定

(3) 計画原案 (平成28年2月とりまとめ予定)

プロジェクト概要に、プロジェクトを支える個別事業も含め文章化し、中間整理に加えた計画の最終形のもの。パブリックコメント等を経て計画案とし、大臣決定を行う。



新たな九州圏広域地方計画の構成

<p>第1章 計画策定の意義と計画の性格</p> <p>第1節 計画策定の意義 第2節 計画の性格</p> <p>第2章 九州圏を取り巻く情勢と課題</p> <p>第1節 成長するアジアと九州圏 第2節 九州圏の現状と課題</p> <p>(1)九州圏の概要 (5)九州圏の通商・貿易 (2)九州圏の人口動向 (6)九州圏の観光・交流 (3)九州圏の基幹産業 (7)九州圏の災害と自然環境 (4)九州圏の農林水産業</p> <p>第3章 九州圏の将来像</p> <p>第1節 日本の成長センター「ゲートウェイ九州」</p> <p>(1)日本の成長センター「ゲートウェイ九州」の形成 (2)九州圏と国内各圏域との交流・連携を促進し、新しい成長の風を西から起こす</p> <p>第2節 三層の重層的な圏域構造からなる「元気な九州圏」</p> <p>(1)三層の重層的な圏域構造を形成し、圏域内の連携の強化により「元気な九州圏」を確立</p> <p>第3節 巨大災害対策や環境調和を発展の原動力とする「美しく強い九州」</p> <p>(1)頻発する風水害、土砂災害、火山災害や巨大災害への対応力の確立 (2)美しく豊かな自然環境の保全と適切な活用、環境負荷低減等の取組の推進と環境・エネルギー産業の活性化</p>	<p>第4章 九州圏の将来像の実現に向けた5つの戦略 (プロジェクト)</p> <p>第1節 アジアゲートウェイ機能の強化</p> <p>(1)アジアとの交流・連携を促進する「ゲートウェイ九州」の形成プロジェクト (2)国内各圏域との交流・連携の強化プロジェクト</p> <p>第2節 九州圏の活力を創出する交流・連携の促進</p> <p>(1)九州圏に活力をもたらす交流・連携の促進プロジェクト (2)九州圏の交流・連携を促進するネットワーク基盤の整備プロジェクト</p> <p>第3節 九州圏の基幹産業や地域産業の活性化</p> <p>(1)九州を支える基幹産業の発展と活性化プロジェクト (2)高度なニーズにこたえる農林水産業や地域産業の新たな展開プロジェクト</p> <p>第4節 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化</p> <p>(1)九州圏の活力源となる高次都市機能の向上と連携の強化プロジェクト (2)都市と農山漁村の連携の強化と生活環境の向上プロジェクト (3)離島・半島、中山間地域等の活力の維持と向上を図る定住環境の形成プロジェクト (4)九州の活力を担う人材の地産地活プロジェクト</p> <p>第5節 九州圏の安全・安心の確保と自然環境・国土の保全</p> <p>(1)巨大災害などへの対応力の強化プロジェクト (2)環境負荷の軽減と自然環境・国土の保全プロジェクト</p> <p>第5章 計画の効果的な推進</p> <p>第1節 投資の重点化・効率化と総合的なマネジメント 第2節 計画の推進 第3節 他の計画などとの連携</p>
---	--